

# M E S S A G E

～ メ ッ セ ー ジ ～

いつの間にか秋風が冷たく感じる頃となり、今年も数えるあと僅かとなってしまいました。

今年の劇団活動は、新進芸術家公演『私たちのジハード』、創作劇奨励公演『それどころでない人』、第30回記念特別公演『明日の幸福』、そして本年最後の作品、アトリエ公演『ノータリンベイビーズ・ノーリターン』。あつという間に一年も過ぎ去ろうとしております。

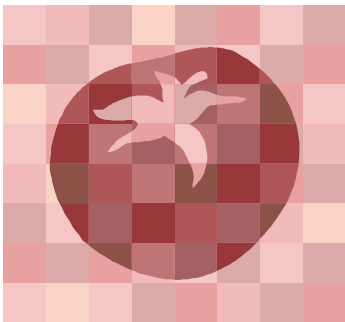
その間、10月初めには『私たちのジハード』海老名演劇鑑賞会での公演も大好評で終えることができました。『私たちのジハード』は96年の初演以来、数々の試行錯誤を重ねて、本当に素晴らしい元氣の出る作品とすることができました。今後再演の折には、更なるパワーアップを模索しておりますので、どうかご期待ください。

『私たちのジハード』海老名公演と同じ頃、岡部企画『帰去来』が上演されました。この作品は劇団朋友がまだ劇団新人会の時代に岡部耕大氏に委嘱して書き下ろしていただき、全国をロングラン巡演した思い出深き作品です。戦後60年の今年に何とか復活再演をしたいと企画しましたが、諸事情のため劇団での上演はできませんでした。生みの親である岡部氏の元で『帰去来』の上演が実現したこと

は本当に嬉しく、また劇団の若い俳優を出演させていただいたことも心より感謝いたします。主人公・石丸進一はその一途な生き様を、我が劇団もいつの日か必ず、また皆様にお届けできれば思っております。

三越劇場での『明日の幸福』。演出の石井先生はじめ、本当に素晴らしい方々の客演に支えられて、劇団としても大成功の公演でした。50数年前に初演された作品とは全く思えず、スピーディーなセリフと舞台を包み込む大きな笑いの中に、現代に生きる私たちにも共通するメッセージを伝えてくれます。再演・旅公演の声も大きくなっておりますので、今回見逃した皆様は是非ともご期待ください。激動と混沌の社会の中、私たちは皆様の応援に支えられて、確かな芝居作りをめざし、今後も活動を続けてまいりますので、何卒宜しくお願い致します。

制作部 夏川正一



## 『黙って行かせて』

— 稽古場便り —

夏の勉強会を経て、8月12日、名古屋で益海愛子、西海真理の二人による朗読劇としての試演が試みられました。演出の宮崎真子氏が原作から親子のセリフを抜粋し構成したものを1時間の芝居に仕上げ、好評を博しました。

### 脚本に杉浦久幸氏！

また、夏の勉強会の途中から、『わがママわがパパ奮斗記』『神様が眠っていた12ヶ月』と、かねてからお付き合いのある杉浦久幸氏が参加。

たまたま杉浦氏と会う機会のあった夏川が『黙って行かせて』の話題にふれたところ、氏が大いに興味を示し、参加することになりました。

稽古場で演出家・劇団員と勉強会を重ねるうち杉浦氏の書く意欲がわいてきて、今回脚本担当ということになりました。

ただ今、執筆の真最中！衝撃の原作を元に、杉浦氏独特の手法で『黙って行かせて』が脚色されることでしょうか。脱稿が待ち遠しいです！どうぞご期待ください！！

